

流れ藻観測速報

鹿児島大学水産学部水圏科学分野

20260218

観測期間:2025年2月14日～16日

観測船:南星丸

観測海域:北部薩南海域

Bckgr: Potential Temperature at Model Level [C]+Sea Current at Model Level [m/s];
20260215 09:00 JST (ANL); Dep=1 m

解説

鹿児島大学水産学部では、薩南海域へ来遊する流れ藻の漂流予測を目指した研究を行っている。モジャコ漁の漁期前・漁期中ににおいて、薩南海域に来遊する流れ藻の情報を漁業者に提供するため、鹿児島大学練習船南星丸を使って、北部薩南海域（鹿児島湾口部）の流れ藻観測を2月14日～2月16日に実施した。

観測期間中、黒潮は奄美群島西岸沖を東北東へ流れた後、トカラ海峡付近で東南東方向へ蛇行し、その後屋久島南沖で北北東方向へ進路を変えた。また、屋久島北西沖には黒潮起源と考えられる暖水域が確認されDR_Eでは明確な黒潮フロントが見られた。

北部薩南海域において流れ藻観測を行ったところ、15日と16日の観測において流れ藻が発見された（下図黒点部分）。いずれも1～2 m²程度の小規模・単体の流れ藻であり、大規模な流れ藻の集群は発見されなかった。

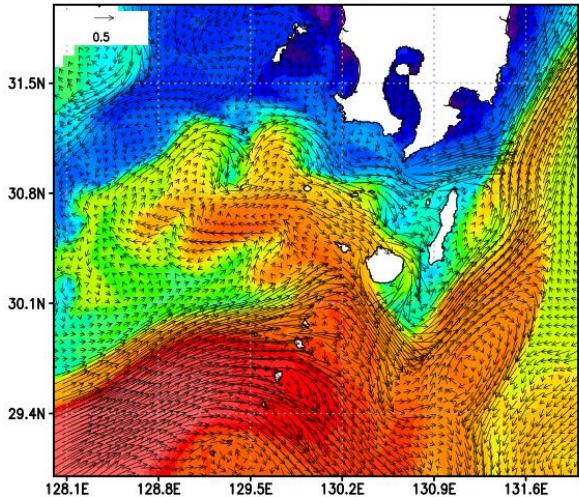


図1. 鹿児島大学工学部によって運用されている高分解能海洋モデル(DR_E)における流れ(矢印)および海表面水温(赤～紫)の2月15日の結果(ホームページより引用)。

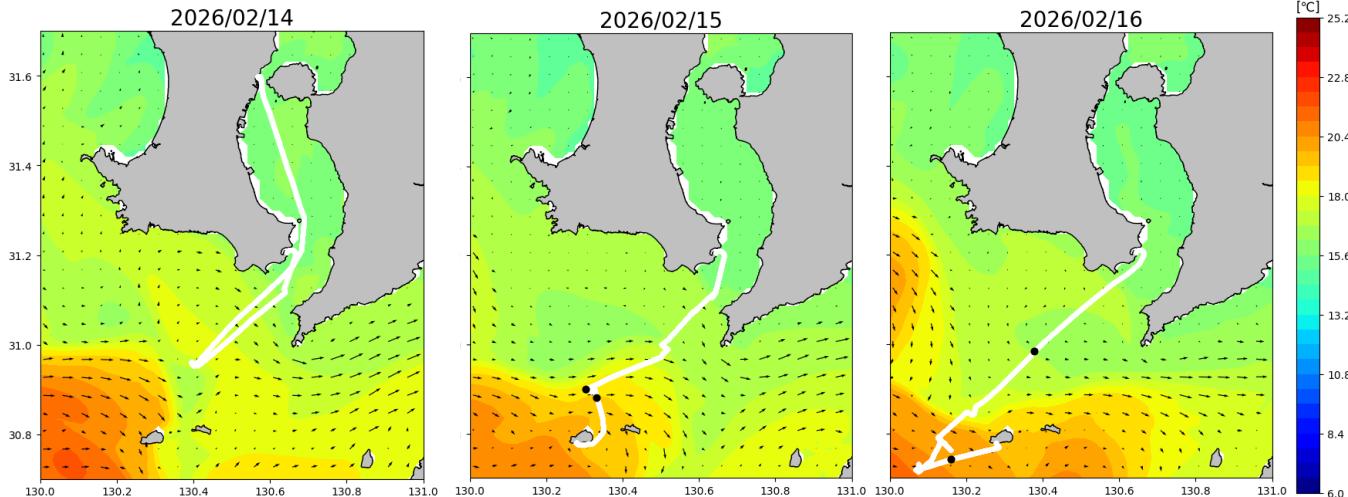


図2. 鹿児島大学練習船南星丸による流れ藻観測結果。黒点部分にて、流れ藻が発見された。

